

角川庭園でお月見！

15日、区立角川庭園（荻窪3-14-22）では、中秋の名月に合わせて、「名月を楽しむ会」が開催されました。そのお月見ムードを高めるため、庭園の散策路には竹灯籠が並べられました。また、琵琶の演奏や野点、俳句の展示などもあり、多くの来場者がお月見を楽しみました。

中秋の名月は、旧暦の8月15日に見える月を意味しています。それは、旧暦で7月から9月が秋とされていることから、真ん中の8月は中秋と言われているからです。今年、今日9月15日が、その日にあたります。

角川庭園・^{げんぎさんぼう}幻戯山房～すぎなみ詩歌館～は、俳人で、角川書店創設者である角川源義^{げんよし}氏の邸宅を改修し、平成21年にオープンしました。現代数寄屋造りの建物は、平成21年11月に、国の登録有形文化財にも登録されています。その庭園には、オミナエシやススキ、ハギ、キキョウなどの秋の七草が咲き、そして手入れの行き届いたアカマツやサルスベリ、タイサンボクなどの庭木が配置され、季節の移ろいを感じられるようになっています。

その角川庭園では、平成25年からこの季節の伝統行事を楽しんでもらおうと、「名月を楽しむ会」が催されてきました。今年も、中秋の名月にあたる今日9月15日は、通常の開館時間の午後5時を午後8時に変更して、このお月見を行いました。

午後5時、琴の演奏が始まりました。また、日本庭園での野点もお月見ムードを高めました。庭園が夕闇に包まれ始めた午後6時近くには、60本ほどの竹灯籠に火が灯され、幻想的な雰囲気となりました。あいにくの曇り空でしたが、グレーのカーテン越しに十五夜がぼんやりと見えると、およそ100名の来場者からは、「わあ一見えた」と歓声や拍手が上がりました。



【報道機関 問い合わせ先】

角川庭園・^{げんぎさんぼう}幻戯山房～すぎなみ詩歌館～ 03-6795-6855
総務部広報課 03-3312-2111